

第 1 4 号 2 0 周年特集

中央大学学員会東京文京区支部

〒 113-0033 東京都文京区本郷 4-26-8 松しん内

TEL . 03(3814)7059 FAX . 03(3814)0583

メール . shigeru@matsu-sh.in.jp

編集責任者 松沼 茂

発行責任者 野口昇兵

白門文京

創立二十周年記念総会

来賓多数を迎え盛大に

平成二十八年七月二十日(土)午後四時から、東京ドームホテル「天空の間」において、創立二十周年記念総会を開催しました。

大学、学員会本部・支部、文京区などから多数の来賓を迎え、総勢約百名が出席して盛会となりました。

第一部は総会、第二部はマラソンの君原健二氏の講演会、第三部は懇親会と、充実した記念総会となりました。なお、当日の出席者には、記念品とともに二十周年記念誌『文京白門二十年の歩み』が配布されました。

第一部の司会には松沼幹事長、戸井田副幹事長があたり、開会に先立ち物故会員への黙祷を捧げました。

全員で中央大学校歌斉唱のあと、議長に選任された野口支部長から「母校は創立百三十年を経たが、中長期計画が発表されて新しい中大の息吹きを感じる。現役員や教授たちにも協力ねがい、後に続く後輩に引き継いでいきたい」

との挨拶があり、議事録署名人には田村悟、島崎修両氏が指名されました。

一号議案平成二十七年事業報告と二号議案同収支決算報告については、松沼幹事長、染野幹事からそれぞれ報告があり、大根田監事の監査報告のあと、質疑なく承認可決されました。

三号議案平成二十八年事業計画、四号議案同収支予算については、松沼幹事長から説明のあと、鈴木副幹事長から信州の旅についての説明が行われました。質疑では、ホームカミングデー等への提言を求める声があり、異議なく可決されました。

五号議案役員改選の件は野口議長に一任され、松沼幹事長・事務局長の説明のあと、鈴木副幹事長から読み上げられた総会で選任すべき役員候補十一名(支部長、副支部長、監事、名誉会長、相談役)いずれも留任)が満場一致で選任されました。

以上の議事審議の後、戸

井田副支部長の司会で功労者表彰を行いました。野口支部長より、田中祺益第二代支部長、大久保治男第三代支部長、松沼茂幹事長に感謝状が贈呈され、定刻どおりに総会を終えました。

第二部講演会では一時間にとわたり、メキシコ五輪銀メダリストの君原健二氏から『オリンピック・私のマラソン人生』と題する講演を聴講しました。君原氏は、中大在学時の東京オリンピックでマラソン銅メダルの故田谷幸吉氏と長年の盟友で、ボストンマラソン優勝から五十年後の今年四月に招待されて同コースを完走した経験談を交えての講演は非常に興味深いものでした。(講演の内容要旨は四頁に)

講演終了後、恒例となつている来賓を含めた出席者全員の記念写真は、大人数のため二度に分けて撮影しました。

第三部懇親会は、松沼幹事長、戸井田副支部長の司会によ

り、創立二十周年記念にふさわしい盛況となりました。来賓は、文京区より成澤廣修区長、白石英行区議会議長、学員会からは久野修慈会長、梶野紘次評議員会副議長、中央大学からは深澤武久理事長、石井靖理工学部長らが臨席。また都区内支部十五支部のうち十三支部から支部長・幹事長または代理が出席されて、共にアトラクション等を楽しみました。(二頁に続く)



2 0 周年記念総会集合写真

二十周年記念総会懇親会 記念誌、 記念品を配布

創立二十周年記念総会第三部懇親会は、君原健二氏はじめ来賓多数を迎えて盛大に開催されました。

はじめに留任の決まった野口支部長が、総会への感謝や君原氏の人柄への信頼感に触れたあと、中長期計画こそ中大復興の要となる、との挨拶をしました。

引き続き来賓各位の紹介を行い、代表して成澤廣修文京区長、久野修慈学員会長、深澤武久中大理事長から祝辞・



20周年記念総会集合写真

挨拶をいただきました。

成澤区長からは、後楽園キャンパスの中長期計画実現に向けて、都市計画上のさまざまな知恵を出し合っていきたいとの挨拶がありました。

久野学員会長からは、心の通い合う熱心な支部活動に対する評価とともに、本日の講演で君原氏と円谷氏の人間の交わりを感じた、また、すべての人が心を通わせ新しい中央大学を作っていくかばならない、との力強い挨拶がありました。

深澤理事長からは、理工学部のお膝元としてお世話になっている、中長期計画では理工学部が重要な役割を担うのでさらなるご協力を願いたいとの挨拶がありました。そして、大学への爆破予告に関して危機管理体制をさらに強化していく、一昨年五月に理事長に就任しがパナソンの再構築を託されたが、六つの課題のうち五つを改善した、残った理事の選任方法を来年五月までに解決したい等の大学の現状

に関する報告のほか、相当な資金が必要な中長期計画実現のために飛躍募金を発足させたので、光輝く中央大学になるよう協力をお願いしたいとの要請がありました。

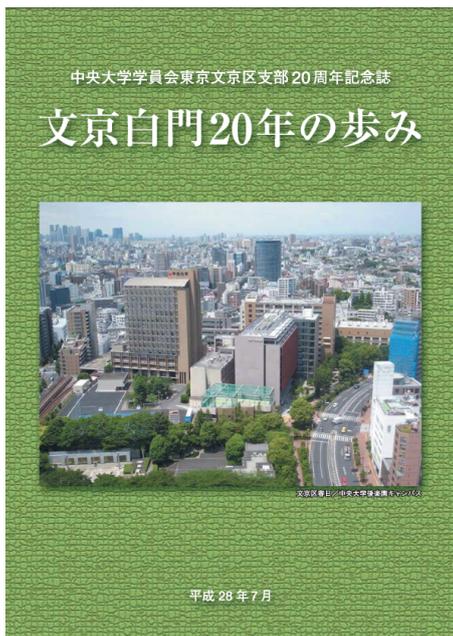
次いで自民党高村副総裁、酒井中大学長、遠藤五輪担当大臣ら多数の祝電が披露され、君原氏の講演を楽しみにしていたとの梅野評議員会副議長の発声で乾杯を行いました。

懇親の宴では、和やかに談笑する中、大久保元支部長の教え子の艶やかな舞や三味線と小唄披露などのアトラクションを楽しみました。さらに、現役の応援団長岡本祐一君と元応援団長の内布亮君による中大節など力強いエールと演舞などが花を添えました。

また、石井理工学部長からの挨拶、都区内十五支部中十三支部を代表して出席された来賓を代表して箱根駅伝優勝メンバーだった佐藤光信渋谷区支部長の挨拶、講師をつとめた君原氏と共にボストンまで行った中大源氏会のメンバーらの挨拶など、活気にあふれた懇親会でした。最後に惜別の歌を合唱し、浮田副支部長の閉会の辞で幕を閉じました。

支部発足二十周年を記念して内容の充実を図った結果、記念誌『文京白門20年の歩み』を発行し、全会員に配布しました。この記念誌は、文京区支部のこれまでの歩みと現状、その記念誌としてはかなり大部にして中央大学の未来を展望しており、国立国会図書館で一般の閲覧に供されています。

記念誌はA4判 / 126頁 国立国会図書館で一般の閲覧に



記念品はオリジナル手拭

中央大学校歌

惜別の歌

中大節(中大節)

中央大学校歌、惜別の歌、中大節の歌詞を染め抜いた長尺の手拭です。希望者には1本600円(3本セット1500円送込)で、また、記念誌は1冊100円(送込)で頒布していますので、事務局までご連絡ください。

中央大学学員会文京区支部は、創立二十周年を迎え、成澤文京区長、深澤中央大学理事長、久野学員会会長からの身にあまるご祝辞を賜り厚く



御礼申し上げます。

創立二十周年記念総会では示唆に富んだ君原健一氏の「マロン人生」の意義深いご講演、そして懇親会では折鶴の

白門文京創立二十周年を祝う記念総会・講演会・懇親会は去る七月三十日(土)、東京ドームホテルに於いて、約一〇〇名の参加を得て無事終



了することが出来ました。

当日は母校中央大学の商議員総会と重なったにもかかわらず、大勢ご来席下さいました。総会・記念誌担当者として誠にありがたく、万障お繰

女将の三味線と小唄、中央大学応援団長及びOBのエネルギーによる応援歌と中大節、石井理工学部長ほかご来賓のご祝辞と、本当に参加者全員心が一つになる記念すべき行事

これからの20年に向けて

支部長 野口 昇兵

となりました。

さて、中央大学中長期計画に基づき、後楽園校舎への法律系学部の移転、新学部の設置等中央大学の改革が計画

り合わせのご来賓の皆様改めて御礼申し上げます。

そして、二十周年記念誌は、関係者の皆様のご協力により、総会当日の配布に間に合わせる事ができました。重ねて御

20周年記念総会を終えて

幹事長 松沼 茂

礼申し上げます。尚、出来栄

えについては、申し上げる立場にありませんが、「二十年の歩み」にふさわしい企画・内容を心掛けたつもりです。しかしながら、総会当日ま

第一に母校愛、第二に互い

されています。その中で、二十周年を迎えた文京区支部は、これからの二十年をいかにす

べきかに思いを致しているところ

に信頼と親睦、第三に会員同士の仕事やプライベートをはじめとする交流、第四に他支部との積極的な文化交流、第五に新規会員の増強、第六に

でに発行する日程では、五月六月の二か月間で企画・資料収集・原稿執筆と原稿依頼、さらにその編集すべてをこ

なさなければならず、文字どおり時間との戦いでもありま

した。二十年前まで遡っての行事メモや写真等の調査を行い、欠落しているものを揃えるために茨城の倉庫に何度も往復して、漸く年表や年代ごとに仕分けした写真真像を完成

会員と家族参加の催し、第七に文京区役所、文京区教育委員会、文京区商工会議所等々と一緒になり、文京区内の小・中・高校、大学専門学校等の運動・文化祭文化講演等を定期的に催し、特に本年度は上記案の中より、会員同士の協議のうえ開催していきたいと思います。

二十周年を機に、これからも中央大学学員会文京区支部の会員であることの喜びを共に感じ、後輩達に背中を見せられる文京区白門会を目指して参ります。

させることが出来ました。誤字・脱字、変換ミス等は、素人編集に免じてご容赦頂ければ幸いです。

この記念誌は白門文京の二十年間の記録を集大成していますが、内容の一部だけでも必要に応じて参照、活用していただく機会があるならば、ぜひ有効利用して頂きたいと思

記念誌「文京白門20年の歩み」の発行に際し、広告掲載寄付、寄稿、資料提供等で多くの方々にご協力頂きました有難うございました。(協賛者名は四頁に掲載しました)

平成 28・29 年度役員

名誉会長

大久保治男

会 長(支部長)

野口 昇兵

副会長(副支部長)

倉田金三郎

久代 信次

相談役

田中 祺益

飯田 康治

幹事長(事務局長)

松沼 茂

副幹事長

相場 有二

鈴木 雅幸

監事

大根田昌生

亀谷 卓夫

幹事

浅井 誠一

大和田 實

奥野 光績

菊池 靖雄

竹本 方英

利根川伸行

宮崎 治子

野口 昇兵

白門契学会評議員

松沼 茂

中央大学商議員

大久保治男

中央大学学員会幹事

相場 有二

学員会協議員

大久保治男

野口 昇兵

田村 悟

浮田 秀則

戸井田ひるし

土屋 頼子

田村 悟

染野 郁郎

大野 雅樹

小川 祝

桂 やまと

島崎 修

玉井 三郎

松田 茂

山田 伸吾

松沼 茂

田村 悟

信次

田村 悟

信次

私は高卒で八幡製鉄に入社したが、同僚には中大卒のスポーツ選手が沢山いたので、中大には親しみを感じている。

オリンピックの歴史

オリンピックの原点である古代オリンピックは、ペストの流行や戦争の中、平和を求める声の強かったギリシャで紀元前七七六年に第一回大会が開かれた。第一回から十三回までは、約二〇〇mの競走一種目だけだった。その後競技種目はふやされ、五種競技の優勝者は最も称賛された。優勝者にはオリーブの冠が与えられた。大変栄えた古代オリンピックだったが、ローマ帝国の支配勢力が強くなり、紀元三九三年の第二九三回をもって中止された。

中央大学が創設された九年後の一八九四年、パリで国際



会議が開かれ、近代オリンピックとして復活した。一八九六年の第一回からマラソン種目はあるが、第四回のロンドン大会から四一・一九五kmとなった。嘉納治五郎は、生涯マラソンの普及に尽力し、日本体育協会を作り、オリンピックの予選会を開いた。日本は第五回大会からオリンピックに参加している。東京遷都五十年記念として最初の駅伝大会が開かれ、三年後に第一回の

君原 健二氏 講演

「オリンピックと私のマラソン人生」(要旨)

箱根駅伝が実施された。

私のマラソン人生

私は七十五年の人生でオリンピックマラソンを三回経験している。マラソンは運動能力の優れた人だけのためにあるのではない。見て楽しむスポーツでもある。見てやることにより明るい人生を送ることが出来る。小学校時代は運動会で一度も一等賞を取ったことがないが、中学三年の時、駅伝で最後の選手に選ばれた。何も目標がなかったが、練習

しながら主体的に考え解決する能力が付き、生きる力を得て競技能力も高まった。一流選手を目指して努力することを考えていなかったが、八幡製鉄で駅伝を走り大きな達成感をえた。五十四年前の就職二年目に秋田国体で初めて円谷選手と走り、入賞した。それまで実現しやすい小さな目標しか持てなかったが、大きな実績により大変大きな目標を持つことができた。

昭和三十九年四月の東京オリンピックマラソンの最終選考では、私が一位で円谷さんが二位だった。十月十日の入場行進は本当に感動し、自分だけ遅れて行進していた。この時、私は八位で円谷さんは銅メダルだったが、金メダルを上回る評価を得ていた。

次回のメキシコオリンピックは高地で、私が結婚した翌年のポストンマラソンが選考会だった。良き指導者に巡り合い、精神面の強化と健康の基本を身につける場だった。

私のマラソン人生における経験から、常に夢・目標・希望を持ち続けることが重要だと思ふ。

中央大学学員会文京区支部は二十周年を迎えられ、一層のご活躍をお祈りいたします。私は来年の第七十五回ポストンマラソンにも参加したいと思っています。



円谷幸吉メモリアルマラソン 2015.10.18

記念誌へのご協力に感謝
次の方々に寄稿、広告掲載、寄付金等のご協力をいただきました。紙面をもって感謝申し上げます。

(順不同・敬称略)

- 久野修慈 大久保治男 土屋頼子 宮崎治子 相場有二
- 大野雅樹 久代信次 宇田川濱江 奥野光績 桂やまと
- 松田茂 竹本方英 野口昇兵 島崎修 田中祺益 倉田金三郎 浮田秀則 亀谷卓夫 酒井廣延 門下泰成 野尻治子 石沢申吉 玉井三郎 大和田實 山縣祐吉 森田英明 大根田昌生 石川善次郎 高松常太郎 杉原尚 鈴木雅幸 蓮池薫 小川祝 田村悟 染野郁郎 利根川信行 浅井誠一 加藤康人 戸井田ひろし 飯田康治 菊池靖雄 松沼茂・松しん 塩水港精糖株式会社 (株)パールエース 東京ドームホテル (株)大創産業・矢野博文 八丈ビューホテル (株)喜代村・木村清 第一ホテルサーピス(株) 岸野順治 池袋折鶴 彦根理木舎 中央法律専門学校 東京心理音楽療法福祉専門学校 全国学生協会 東京フード製菓中医薬専門学校 銀座四季季菜かん

飯塚翔太選手（平成 26 年卒）

リオ五輪で銀メダル獲得！

中央大学陸上競技部コーチ 豊田 裕浩



陸上
競技部
OBの
飯塚翔
太選手

が、8月のリオ五輪において200mと400mリレーに出場し、400mリレーにおいて第2走者走り、見事銀メダルを獲得しました。

今回、私は飯塚選手をサポート役として、リオに帯同させ

ていただきました。

ブラジル・リオは日本との時差十二時間、そして季節も真逆の「冬」という状況の中、日本人にとっては体調管理がとて難しい国であり、さらに事前のニュース報道等にもありましたが、ジカ熱や治安の悪さといった不安要素もあつた大会でした。

飯塚選手は、二〇一二年のロンドン五輪に続き、今回は

二度目のオリンピックでした。まず個人種目の200mでは、決勝進出という目標を立てて挑んだ予選のレース。結果はまさかの予選落ち。世界とのレベルの差を痛感させられたレースでした。

しかし、2日後の400mリレー予選では、飯塚選手は日本チームの第2走者として出場。しつかり気持ちを切り替え、本来の走りを取り戻し、予選からアジア記録となる37秒68をマークし、決勝進出に貢献ができました。

その翌日、日本中が注目した400mリレー決勝。バト

ンパスで危ない場面がありましたが、日本チームは見事アメリカチームを抑えて、銀メダルを獲得。この結果は、日本短距離にとつて画期的なものであり、日本人のスプリント力が世界にも通用することの証明になったのではと確信しています。飯塚選手も強豪相手によく走ってくれました。

二〇一六年リオ五輪が終わりました。次回二〇二〇年の東京オリンピックに向けて、5年後の飯塚選手は二十九歳、まだまだ十分に戦える年齢です。飯塚選手自身も、個人種目では200mで決勝進出、



右から2人目が飯塚翔太選手

400mリレーでは「金メダル」という目標をすでに掲げており、トレーニングを再開しています。

中央大学学員の皆様、どうぞ引き続き、ご支援、ご指導の程宜しく願います。

（平成 8 年法学部卒）

中央大学の前身英吉利法律学校の創立者は、錚々たる東大教授や代言人達であるが、全員が東大法学部卒業生である。（以下敬称略）

初代校長、東京法学院初代院長・増島六一郎はイギリスのミドルテンブルも卒業し、代言人（弁護士）として英法的市民法重視の先駆者であるが、彦根藩校・弘道館でも学び、増島家は彦根藩弓道師範二〇〇石の武士である。それが旧彦根藩重役の子孫たる私の中大を愛する所以でもある。因みに専修大創立者・相馬永

胤も旧彦根藩士である。

最近私は小中高の母校である東京高等師範 東京教育大学 筑波大学の付属小中高の同窓会名簿を見ていて驚いた。

中大創立者達の子孫と東京高等師範学校（現筑波大）付属で同窓

三代目支部長 大久保 治男

主な中大創立者五人の内、何とその子孫五人もが付属であつた。

奥田義人（文部と司法大臣、中大学長）の子・奥田剛郎は

十五回卒。（明治三十九年）

穂積陳重（東大法学部長、枢密院議長）の子、重遠（東大教授）は十回卒（明治三十四年）。そして孫、忠夫は六

十回卒（昭和二十七年）である。二代続いて付属である。

元田肇（代言人、通信と鉄道大臣、衆議院議長）の孫、元田漢は六十一回卒（昭和二

十八年）。私と同期で当時元田の自宅は現在の「茗荷谷駅」の辺り。当時は付属の連中の自宅は多くが文京区内であつた。

土方寧（東大教授、貴族院議員）の孫の土方透は八十三回卒（昭和五十年）で、中大法学部・大学院卒でかつ私と同じ法学会研究室の委員長もやり、現在は聖学院大学の教授である。

中大創立者の子孫の内五人もが私の小中高の同窓（桐蔭会）であり、しかもその五人共お会いもし親しい同期・後

輩もいて不思議な縁を感じるのである。

母校「付属」は明治五年（一八七二）神田昌平覺跡に創設された師範学校（明治十九年より高等師範学校）の実習の為の付属小学校として設置された文部省の官立学校である。宮内省・官立の華族学校「学習院」と対比され、市民社会のリーダー的家族の子弟が多く入学する「高師付属」として有名であった。

中大創立者の家庭の子弟も「高師付属」に入学するケースも多かったであろう。

さくら会報告

今年のさくら会は数年ぶりに水戸黄門の小石川後楽園。三月二十七日の当日は、満開にほど遠い一分咲き。だがさくらを愛でる善男善女がどつと押し寄せ、発券所は長蛇の賑わい。

白門文京さくら組は「文京のぼり」に大集合。ガイドさんと共に園遊の旅へ。

平成の都心に深山幽谷・木曾街道・びわ湖・中国の西湖・清水舞台・滝あり、田んぼあり等々…、さすが御三家大名感服す。ガイドさんは我が白門団体を気遣ってか、「中大理工学部は後楽園庭園の最高地に立つ」と周りのさくら人へも複数回力説、又、参加者の年齢をおもんばかってか



園内より後楽園キャンパスを望む

宴会間際までゆっくり行脚で園内一周。ガイドさんに感謝

続いての花より団子会は、園内涵徳亭で、三分咲きの名木しだれ桜・築山の小鷹山がガラス越しに我々を歓迎。又大久保治男会長の特別講演、杉原氏の即興詩、倉田氏の小唄・端唄等々で心も満開。花より団子会にふさわしい出し物で座も最高潮に。二十名の紳士淑女は有志提供のみやげ品と共に楽しく散会した。
(文京区の花咲爺さん)

大井競馬ビール

ナイター報告

白門文京恒例の大井競馬場納涼ビールナイターとは、大井競馬場馬主専用の貴賓室で、「レースと競馬場のそよ風・夜景をつまみにビールを楽しむ」、ウマク行けば万馬券を連続ゲットし、銀座三ツ星店で豪遊?といささか字余りで虫のよい企画だ。

昨年は場内改修工事で休止したが、二年ぶりの今年は九月二十一日(水)夜開催、紳士淑女二十五名が参集した。開始早々、会友が大穴をゲット、支部に万札の差し入れ



大井競馬場貴賓室テラスにて

に歓声。三ツ星への期待が高まったが、その後は派手な展開が見られず。今回も銀座での豪遊には至らず、午後八時過ぎ、有志差し入れのお土産を手に楽しく散会した。

物品提供者「若誠流通グループ(高級酒・フルーツ類)、原島氏(配当金)、松しん(おつまみ・江戸小物)

白門文京忘年会

白門文京はその年の厄払いを兼ねて忘年会を毎年行っている。会場は昨年に続いて、東京ドームホテルのバイキング・リラクサだ。同ホテルが文京区支部副支部長の久代氏が社長を務める(平成二十八年四月より会長)東京ドームの子会社との関係もあるが、本音はホテルが開催中の「北海道フェア・カニ食べ放題」

が白門文京の胃袋をつかんで放さない。十二月九日、ひつじ年忘年会は、二十七年度司法試験トップ獲得、法学部の後楽園キャンパスへの移転構想、箱根駅伝予選通過等の話題をバイキングメニューに加え、カニ放題を堪能した。



カニ放題でご機嫌の婦人達

わが町文京

一葉ゆかりの伊勢屋質店

文京区は坂の町で知られるが、わが町本郷は、坂に加えて文人の町でもある。

明治より多くの文人が住み、数多くの作品を生みつつ日本文壇の歴史を築いてきた。宮沢賢治、石川啄木、坪内逍遙等の男性にまじり、二〇〇四年より五千円札に登場した樋口一葉も本郷の住人でした。一葉の父は彼女の非凡な才能

を認め和歌を習わせたりしたが、借金を残して没した為、若くして家計を助ける羽目になった。しかし貧困生活の中で「にこりえ」、「たけくらべ」、「十三夜」の名作を手掛けつつ、明治二十九年、二十四歳の若さでこの世を去った……。

一葉の住んだ町菊坂、彼女の使った共同井戸は今でもその佇まいを残し、遠方からの来訪者も多い。尚、一葉が通った地元「伊勢屋質店」は数年前売りに出され、一時は解体の危機にあつたが、文京区の支援を元に、区内の跡見学園大学が所有し、一般開放を含めて公共の為に管理運営することとなった。地元本郷の住民はもとより、全国の一葉・文学ファンはホッとしている。
(地元住民 松沼 茂)



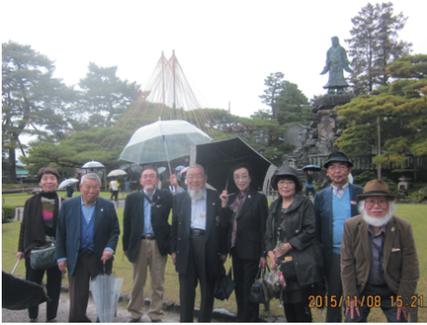
本郷菊坂・伊勢屋質店

金沢修学の旅

白門文京五回目の昨年の旅行会、タイトルは「金沢修学の旅」。

開通間もない北陸新幹線初乗りで金沢へ、夜はズワイガニの夕べが主たる目的だから正確には遊学の旅だ。

参加者は東京から野口会長組六名、彦根から大久保夫妻が合流し計八名の旧学生が金沢駅で合流。上野より二時間半、あつというまに金沢着。十一月八日(日)は秋の旅行シーズン真っ只中とは言え、金沢駅は旅行客であふれ、街は千客万来・店は商売繁盛の様子だ。我ら八人の旅人は旧修学旅行生よろしく、観光バスで兼六園や東茶屋街・武家屋敷を散策した後、観光会社予約のホテルへ。



兼六園の遊学旅行生

ホームカミングデー

白門文京大当り

母校の学員祭である中央大ホームカミングデー、白門文京は平成八年設立以来、名刺広告協賛や景品提供を手土産に毎年参加している。

二十四回目を迎えた平成二十七年も十数名で参加し、広大な多摩キャンパスの賑わいに一役買っていた。その功績に多摩キャンパス「福引の神」のご神配?か、お楽しみ福引抽選会では、毎年豪華景品をゲット。第二十三回の平成二十六年は、田中元会長と野口会長が特賞の大当りで、共に特設ステージ上で景品を受領した。

そして今回もまさかの再現、まず相場副幹事長が、深澤理事長提供の高級腕時計をゲットした。

トした。ステージ前のあちこちの歓声と共に抽選は進み、最後の豪華景品で、凸版印刷・足立会長提供の大型テレビは何と松沼幹事長が引き当ててしまった。強運の白門文京万歳!



豪華商品ゲットの白門文京

がんばれ! 神宮

ガンバレ! 箱根

学生スポーツの花形といえば春・秋行われる神宮球場・東都大学野球と正月恒例の箱根駅伝だ。かつて母校はそれぞれに王者であったが、それも遠い昔の事で、今、神宮も箱根も消滅の危機にある。

それでも中大出の阿部・亀井・沢村がジャイアンツのレギュラーとしてなんとか頑張っているが、箱根に至ってはここ数年、立川で辛つじての予選通過だ。母校五〇万の学員

は、祝新年には程遠い胃潰瘍の正月が続いている。甦れ 中央大学 頼むぞ中大スポーツ担当大臣。頼むぞ 箱根駅伝・藤原監督。



一区で力走する町澤選手

これからの主な行事予定

第25回ホームカミングデー
10月23日多摩キャンパス
忘年会

12月上旬東京ドームホテル
箱根駅伝の応援
正月2日3日

会員登録

文京区支部では新しい会員を募集しています。中央大学を卒業され区内に住居または仕事場や、稽古場等がある方が対象です。年会費三千元(入会金無料)連絡先〓事務局

松しん内 松沼茂
電話 38147059
FAX 38140583
Email: shigeru@atsushin.jp
会費振込先 郵便振替

一六二五八一七七五
白門会 文京支部

ある一家の会話

ママ: スパ!

パパ: ボウリング!

ママ: 今度のお休みどこに行く?

ママ: ショッピング!

ママ: 野球観戦!

ママ: ホテルでディナー!

ボク: 遊園地!

ボク: ヒーローショー!

赤ちゃん: バブー!!

まとまらなくても大丈夫。東京ドームシティなら、行きたいところ全部あります。家族みんなが楽しい東京ドームシティ。



東京ドームシティ わくわくダイヤル 03-5800-9999

東京ドームシティ 公式WEBサイト 東京ドームシティ で 検索

<p>監査役 土屋 頼子</p> <p>本社 〒113 0033 東京都文京区本郷一丁目三番八号 TEL 三(五六八九)五五八(代) (中央大学学員日華友好会副会長)</p>	<p>株式会社 東京ドーム</p> <p>代表取締役 会長 久代 信次</p> <p>〒112-8575 東京都文京区後楽一丁目三番 TEL 三(三三八一)二二二(大代表)</p>	<p>学校法人 中央育英学園 学校法人 東京育英学園</p> <p>理事長 学園長 野口 昇兵</p> <p>〒171-0022 東京都豊島区南池袋二丁目一六 TEL 三 五九九六 一九三二 www.kueigakuen.ac.jp</p>	<p>駒込名誉教授 武蔵野学院大学名誉学長</p> <p>白門文京 名誉会長 大久保 治男</p> <p>本宅 彦根城内井伊直弼学問所埋木舎(国特別史跡) 自宅 〒112-0011 東京都文京区千石二丁目一六四 TEL 三(三九四一)八四四</p>
<p>代表取締役 亀谷 卓夫</p> <p>本社 〒112 0011 東京都文京区千石四丁目一四三 TEL 三(三九四六)四六三(代) FAX 三(三九四六)四八八三</p>	<p>東京都知事免許(宅)第一八九三七号 公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会会員</p> <p>株式会社 駒込不動産</p> <p>代表取締役 奥野 光績</p> <p>本社 〒113 0003 東京都文京区本駒込二丁目一番八号 支店 〒170 0003 東京都豊島区駒込二丁目十五番八号 TEL 代表(三九一八)五四五二番 J R 駒込駅東口 FAX 三九一 五五二</p>	<p>株式会社 大創産業</p> <p>代表取締役 矢野 博文</p> <p>〒739 8501 広島県東広島市西条吉行東1丁目4番14号 TEL 八二(四二) 一 FAX 八二(四二)二七四</p>	<p>倉田 金二郎</p> <p>〒170-0002 東京都豊島区巢鴨一丁目一三三 TEL 三(五九八一)九四八番</p>
<p>税理士 松田 茂</p> <p>〒114 0001 東京都北区東十条四丁目一四 キャビナルビル東十条一丁目四号室 TEL 三(三九九)八八四七(代) FAX 三(三九九)六一四八 メール matsuda@kb.atr.ne.jp</p>	<p>株式会社 アートクリア</p> <p>専務取締役 田村 悟 佐久事務所</p> <p>TEL 090-5583-9663 FAX 0267-32-2612 〒385-0021 長野県佐久市長土呂 1690-9 E-mail: ta-ankra.ya3to621ko@crest.ocn.ne.jp</p>	<p>弁護士 大野 雅樹</p> <p>四谷タウン総合法律事務所</p> <p>〒160 0004 東京都新宿区四谷一丁目七 TEL 三(三五三二) 七二七(代) FAX (三五三二) 七二二八 松山ビル三階</p>	<p>中央大学</p> <p>学員会 常任幹事 年次支部協議会 代表幹事 白門45会 支部長</p> <p>相場有二税理士事務所 所長 相場有二</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目25番9号 ブラウンハイツ本郷 203 TEL (03) 3811-8302 FAX (03) 3811-8326 E-mail: aiba-jimusyo@ac.aone-net.jp</p>
<p>株式会社 松じん 松沼 茂</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目二十六番八号 TEL (03) 三(三八一)四一七〇五九番 FAX (03) 三(三八一)四一七〇五八番 URL http://www.matsu-shin.jp/ メール shigen@atsu-shin.jp</p>	<p>和紙工芸品、民芸品の企画・製作</p> <p>TRASSIC</p> <p>各種印刷物、ホームページ等 販売促進ツールの企画・制作</p> <p>トライアシック株式会社 竹本 方英</p> <p>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-6-3 7階 TEL:03-3556-6892 FAX:03-3556-6894</p>	<p>司法書士 染野 郁郎</p> <p>〒112-0004 東京都文京区後楽2-21-20 TEL 03-5805-1591 FAX 03-5805-1592</p>	<p>落語会のご用命承り口。</p> <p></p> <p>落語家 三代目 桂やまと info@yamato3rd.com 電話 /FAX 03-6755-8815 〒116-0011 東京都荒川区西尾久 4-31-5 最新情報は公式サイト、Facebook、Twitterで！ 【「桂やまと」で検索】</p>

編集後記



白門文京「創立20周年記念誌」の出版を終えてホッと一息…。テレビで「才五輪」、日本の大活躍・感動もつかの間、気がつけば会報14号の発行が待っていた。全身が錆び始めた75歳・75キロの老体には、いささか負担だが、頭の体操はボケ防止・忍び寄る認知症の先送りにはむしろ有効なのかもしれない。(松)